

## 将来の県立高校に関するアンケート調査結果

### 1. 調査の概要

#### (1) 目的

この調査は、第4回総合教育会議で議論した「県立高校のあり方」に関して、広く現役高校生や現場教員等の意見を聞き、基本方針の作成にあたり参考とすることを目的とする。

#### (2) 対象者

県立高校(全日制・定時制)2年生(以下「高校2年生」という。)	6,073人
県立高校(全日制・定時制)校長、教頭、教諭、養護教諭及び実習助手(以下「教員等」という。)	1,837人

#### (3) 方法

第4回総合教育会議で議論した「県立高校の目指す姿」(案)を掲載したHPの周知と併せ、Webアンケートフォームにて実施。

#### (4) 時期

高校2年生 令和6年12月2日(月)～12月20日(金)

教員等 令和6年11月25日(月)～12月20日(金)

#### (5) 回答の状況

	対象者数	回答数	回答率
高校2年生	6,073	4,814	79.3%
教員等	1,837	720	39.2%
合計	7,910	5,534	70.0%

富山県 明るい未来を創るのは、君たちだ!

高校生意見調査アンケート

**県立高校の“目指す姿”**

富山県教育委員会では、県立高校のよりよい姿を目指すため、県内の高校2年生を対象としてアンケートを実施します。  
みなさん、これからの県立高校の「目指す姿」を一緒に考えましょう。

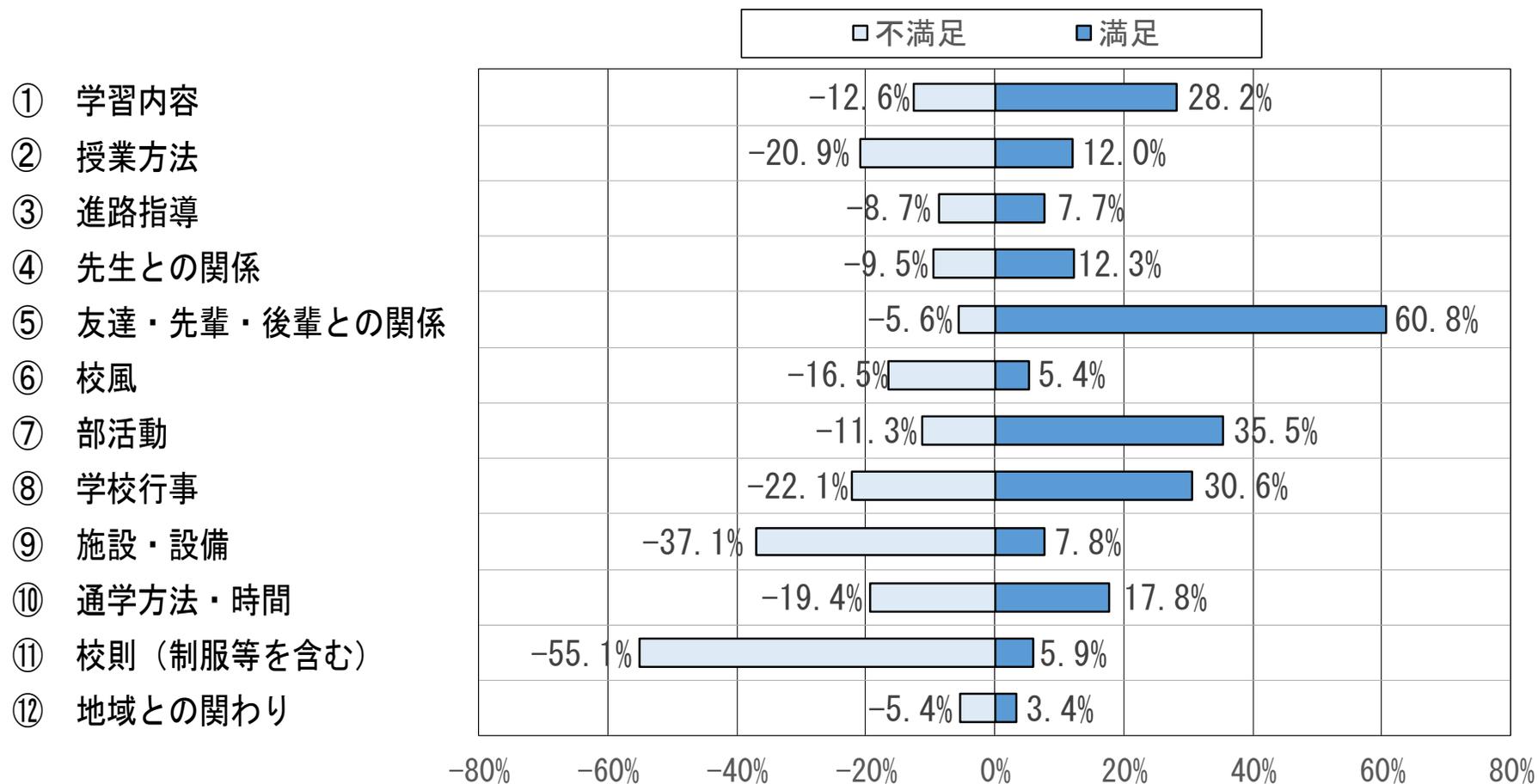
高校生WEBアンケート実施中!!

アンケート実施 県立高校2年生 12月2日～12月20日

## 2. 調査結果

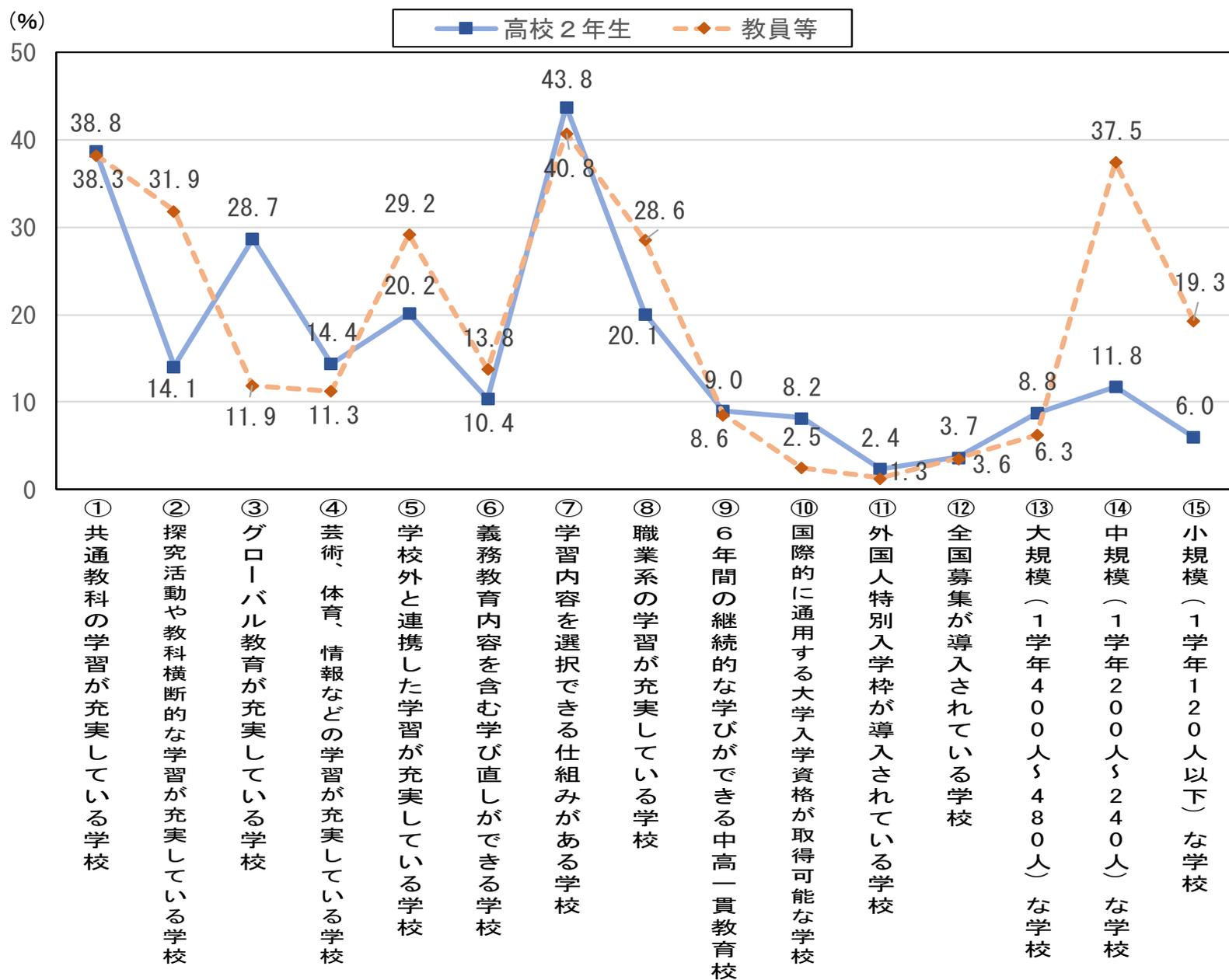
### (1) 学校生活について【高校2年生】

- ・あなたの学校生活の中で、充実感や満足感を得られているものを3つまで選んでください。
- ・あなたの学校生活の中で、満足していないものを3つまで選んでください。



(2) 将来必要と思う県立高校【高校2年生・教員等】

将来の高校生のために、どのような県立高校が必要だと思いますか。次の中から必要だと思うものを3つまで選んでください。



(3) 県立高校の「目指す姿」などに対する主な意見（自由記載）【高校2年生】

内容	主 な 意 見
目指す姿	様々な背景を持つ人たちにも配慮されていていいと思った。
	学校外の地域や企業などと連携することはとても心強くて良いと思う。
	高校を減らすのはよいと思うが、一つの地区に工業系と普通科系を一つずつは設置すべきだと思う。
	様々なカリキュラムに対応し、多様な進路の幅を持たせてくれるところがいいと思った。
	立地条件がよく、通いやすい学校や、特色ある普通科高校が必要だと思う。
	現在必要とされているものの実現が令和20年度では遅いと思う。その時にはまた違うカが求められていると思う。
	富山地区、高岡地区以外の学生は、高校が減ることで通学時間が長くなったり、選択肢が狭まりそう。
	授業が充実し、生徒が自ら学ぼうと意識できる興味のそそられる授業ができる学校がよい。
	全体的にスポーツが他県に比べて弱いので、もっと部活動の設備を整えるべきだと思う。富山県はどのスポーツにおいても中学校時代に全国で成績を残した者は県外に出る人が多いように感じる。設備を少し整えるだけでも、実力者が踏みとどまって富山のスポーツ強化につながるのではないか。
	「富山ならではの教育を通じたウェルビーイングの向上」について、社会との繋がりを持つ事は必要だとは思いますが、学校のカリキュラム(生徒のニーズ)に合わせて企業を選ぶべきだと思う。
	小規模な高校でも、その地域にとって必要なものとなっているのではないか。
	国際バカロレア教育や中高一貫校設置などを進めてほしい。
富山は普通科が多く、〇〇コースと選択できるが特色があまり感じられないのでどれも同じような学校に思える。今後は国際色豊かだったり、芸術に特化したりと学校の色が分かっているような選択できる学校があったらいいと思う。	
その他	生徒が楽しく過ごすことができ、「充実した最高の学校生活だったな。この勢いでこれからの社会生活も頑張ろう」と思える環境が整備された学校がよい。
	県外からも生徒が通えるような設備の整ったオンリーワンの学校を造っていく必要があると思います。
	筆記だけではなくパソコンやタブレットの使用を増やす。
	高校再編よりも先生方の指導方法の見直しをしてほしい。
	暖房をつける、教室やトイレがきれいなど、環境をもっと重視してほしい。部室もすごく寒くて辛い。生徒の気持ちを考えてほしい。
	修学旅行は必要だと思う。
	留年制度のない学校、メイクを禁止しない学校、男子の長髪を禁止しない学校、時代の変化に柔軟に適應できる学校、個性が尊重される学校、将来にあった教育を受け入れる学校、ブラック校則がない学校、自由な学校。
頭が固い、古い考えの校則の学校が多いので、それをなくした方が良いと思う。	

(4) 県立高校の「目指す姿」などに対する主な意見（自由記載）【教員等】

内容	主 な 意 見
目指す姿	これまでの統廃合の延長線上ではなく、抜本的な改革をうたっている点、新築も含めて高校設置を考えている点が良い。
	数合わせ的な再編ではなく特色ある高校を設置しようとする考え方はよいと感じた。新しい高校を作ろうとするワクワク感がある。
	高校を地域の枠で設置するのではなく、自分の学びたい学科、特色のある高校を選ぶことを大切にしていこうとしている方針にはとても共感します。さまざまな利害関係や価値観が存在し県民が納得するまでには時間を要すると思いますが、とことん議論を重ねて現在の県立高校が抱える問題を少しでも改善していければと願っています。
	新たな学校を20校つくるという発想で良い。個々の学校が価値創造できる特徴ある学校づくりを目指すべき。
	目指す姿をはっきりと示したことは大変良いと思う。20校になるとのことだが、小出しにせず、最終形態とその過程までのプランも示していただきたい。
	あまりにも大規模に変え過ぎなのではないか、と率直に感じた。これまで各校が築いてきた様々な伝統が引き継がれなくなるのも残念だと感じる。
	20校に削減はやり過ぎな感じがする。大規模校は学年の統括が困難であったり、個に対応した指導が難しくなるので、現場の現状に合っていないと思う。
	中学生が進学する高校を選ぶ際には通学しやすさを最も重視することが明らかになっています。将来の高校配置を考える際、交通の利便性もセットで考えていただきたいです。
	変化が激しく予想困難な時代を生きていくために、地域や企業、大学などと連携し、教室で習得した知識をフルに活用することが必要だと思う。学ぶ意義や知識は使うものということを知る。
	時代のニーズに応じた学科・コース・系列等を設置することや、教育内容を明確にすることで、学校の特色化を図ることは必要だと思います。一方で、ある分野に特化することにより定員割れが生じることも心配されます。
	複数の学科構成は、正直厳しいのではないかと。学科の動きが異なり、学年や学校としての動きが統一しにくい。それが大規模校になればなるほど、より大変になるのではないかと思います。
	さまざまな選択ができることが良い。一度失敗しても、やり直しができるシステムが大事だと思う。
	生徒それぞれが自分の進路に応じた教育を受けられる環境は良いと思う。高校の先生方が、これらを受け入れられるだけの資質と能力が求められてくるので、先生方への研修体制が必要となってくる。中学校の先生も同様に、多様な進路指導の研修が必要である。
教員を目指す人々へのアピールともなるよう、教員のウェルビーイングに関する記述を増やしてもよいのではないかと感じた。	
理想は大変すばらしい。しかし、それを現場に丸投げされても困る。しっかりした方針と人員の確保が担保されないと、現場が疲弊する。	
基本目標	「予測困難な時代において社会の変化やニーズを読み取り、社会参画できる」ようにするためには、考えさせるだけではなく考えたことを実践的に取り組もうとする行動力を育てる必要があると考える。
	これからの時代のニーズに対応できる人材を育てることに加え、地元の産業を支える人材の両方をしっかりと育てることが必要だと思います。
	「生徒が学びたい、学んでよかったと思える 高校づくり」のためにも、まずは生徒に自信をもたせることが必須と考えます。受験科目のみでなく、幅広く生徒の生きる力となるような科目もしっかりと学べる事が大切では、と考えます。
	目標を達成するためには教員自身も学び続けなくては行けないが、現状はそれができるだけの十分な環境・体制とはいえないことが問題。

内容	主 な 意 見
基本目標	「富山ならではの」と独自性にこだわり、おかしな目標にならないようにしてほしい。
	各高校がオンリーワンである必要はないと思う。
	時代の流れや社会で求められていることからかけ離れないように子供たちが学びを自分事として考えて基本目標を実現できるようにしてほしい。
	将来の学びにつながるしっかりした基礎学力を身につけさせたいです。また、すでに（１）にありますが「レジリエンスを育む」ような教育が必要だと考えます。どんな状況におかれても、たくましく、柔軟に、元気に生きていけるような子どもを育てていければと思います。
	今後、地域の産業問題を分析し、デジタル技術を用いて解決策を提案できる能力や、環境問題や食料問題など、グローバルな課題に対する理解を深め、持続可能な社会の実現に貢献できる人材の育成に重点を置く必要があると思われま。
	方向性や興味関心をおおよそ考えておく必要はあるが、多様な文化に触れ合うことで考え方が変わることはあるし、変わっても良いと思う。
学 科 等	普通科系学科の区分にこれからの時代に必要な主な教育内容が盛り込まれており、また大規模、中規模、小規模校の利点が組み込まれており、生徒の選択肢が確保されている点が良いと感じた。
	職業系専門学科を設置し、専門分野で活躍できるスペシャリストを育成することは大変良い。しかし、将来の進路先に大きく影響する専攻分野を中学生の段階で選択させるのは難しいのではないかと思います。高校入学後に学科選択ができる「一括募集」は有効な手立てだと思います。
	地域や企業と連携することはどんどん進めるべきだと思う
	全国的に少子化、国際化が進む中で、富山県も変わらずであり、その中で学びたいことに特化した教育課程は必要だと考えます。
	富山県には、中高一貫の公立校が無いので、将来的に設置されれば良いと思われる。
	国際バカロレア認定校の導入ありきの姿勢はいかがなものか。県民、教員のコンセンサスが十分には醸成されていないし、準備不足。
規 模	大規模校の設置に興味があります。大規模校ならではの充実した教員の配置、多様な生徒がともにな学ぶ場など、メリットを生かせるような学校になればよいと感じる。
	大規模校が必要なのか。中規模・小規模校で、生徒一人ひとりに目が行き届くほうが良いのではないかと考えた。
	人は一人では成長しない。他者と関わることで、成長していく面は否定できない。ゆえに、ある程度の学校規模は必要と思う。
	小規模校は教職員が少ないため通常の業務を行うだけで精一杯で、「特色ある教育」を行う余裕がない。「特色ある教育」をする代わりに部活動をしない等、思い切った業務の見直しが必要。小規模なら「生徒一人ひとりが手厚い指導が受けられる」は幻想であり、現実には教職員の時間外無償労働に依存しなければ成り立たない。校舎の清掃や維持管理もままならないのが実情である。地域からの様々な要請にも応えきれない。
	小規模校3～4校となっているが、もっと増やした方がよい。生徒の通学時間を考慮するため。また、大規模校になじめない生徒もかなりの数が存在する。小規模校できめ細やかな指導を受けた方が効果的である。